

平成31年4月5日

平成31年度 教育計画書

千葉県立国府台高等学校

1 校訓

- 「自由を愛し、責務を果たそう」
- 「真理を求め、文化に寄与しよう」
- 「敬愛を旨とし、平和を護ろう」

2 学校教育目標

「21世紀の日本をリードする有為な人材の育成に努める」

- (1) グローバル社会に生きる一員としての責任を自覚し、周囲の人と連携・協働することのできる、心身ともに健康で意欲的な生徒を育てる。
- (2) 学習目標・進路目標・生活目標を明確にもち、自主的・自律的にその目標の達成に取り組む生徒を育てる。

3 めざす学校像

教育の社会的使命を自覚し、意欲的に多くの体験と感動を重ねながら、自主的・自律的に人間力を伸ばそうとする生徒を育む、魅力ある高等学校を目指す。

4 めざす生徒像

- グローバル社会の一員としての責任を自覚する生徒
- 共生の精神で自他ともに尊重し、連携・協働できる生徒
- 人間としての高みをめざす、意欲にあふれ心身ともに健康な生徒
- 自己の目標を明確に掲げ、その達成に向け自主的・自律的に取り組む生徒

5 めざす教職員像

- 人間性豊かで教育に対する熱意と使命感をもつ教職員
- 生徒の成長を深く理解し、生徒自らの課題解決を支援できる教職員
- 学校運営に積極的に参加し、組織の改善及び充実を図る教職員
- 幅広い教養と確かな専門性を高めるために質的向上に努める教職員

6 めざす指導体制

- 和：全教職員の理解と協力により、一体となって教育にあたる
- 協働：よりよい学校をめざし、校内はもとより関係機関との連携を図り協働する
- 創造：生徒の力を引き出すための取り組みを創造する

7 学校づくりの重点

(1) 魅力ある学校づくりを推進する

- ①伝統ある進学校として教育内容の充実を目指す
 - ・教育的ニーズを把握、共有し、よりよい教育計画を立案する
 - ・様々な教育活動を通して、生徒の学力・人間力の向上を図る
 - ・学習指導要領の改訂や高大接続改革に対応する教育課程を検討する
- ②小・中学校や大学との交流・連携を推進する
 - ・異校種間交流や高大連携の拡充を推進する
 - ・市川市中高連携推進連携校として「学力向上」の研究を深める
- ③信頼され、開かれた学校づくりを推進する
 - ・各種ボランティア等、地域とのネットワーク構築を推進する
 - ・国府台コンソーシアムの連携促進を図る
 - ・積極的に学校情報を発信する

(2) 心身ともに健康で意欲的な生徒を育成する

- ①生徒一人一人の学力の向上を図る
 - ・主体的・対話的で深い学びの実現をめざし、授業改善を図る
 - ・授業以外の学びの場（補講、課題テスト、小テストなど）を効果的に実施する
 - ・家庭と連携し、家庭学習の充実を図る
- ②豊かな人間形成に必要とされる心や能力「国府台マインド」を育成する
 - ・学習、部活動、学校行事に真摯に取り組む姿勢を育てる
 - ・自他ともに大切に作る人間関係を構築する
 - ・カウンセリングマインドを活用した生徒理解を深め、生徒指導の一層の充実を図る
 - ・幅広い教育活動を通して人間形成に努める
- ③キャリア教育を推進し、進路実現を図る
 - ・自己理解を図り、自分らしいキャリアデザインを描ける生徒を育成する
 - ・キャリア教育の年間計画に基づき、きめ細やかな進路指導を実践する
 - ・進路情報を積極的に提供し、進路決定への充実した支援を実施する

(3) 協働と責任ある学校運営を行う

- ①『チーム国府台』で教育力の向上を図る
 - ・職員全体で、教育目標や重点目標を共有し、その実現を目指す
 - ・組織的な公務運営を行う
- ②コミュニケーションを大切にした職場環境を整える
 - ・職員間のコミュニケーションを図り、連携して課題解決に取り組む
 - ・安全で安心して活動できる教育環境を整備する
- ③教育公務員としての誇りと自覚をもち、資質・専門性の向上に努める
 - ・コンプライアンス意識の徹底を図り、不祥事根絶に努める
 - ・新しい教育情報を収集し、研究と修養に努める